

令和2年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	13	議席 番号	2	氏名	若 林 志津子 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1				少人数学級の実現に向けてできること	(1) コロナ禍での経験と少人数学級をめぐる動きについて以下、伺う。 ① コロナ禍での分散登校の経験について。 ② 現状の教育環境と教員の働き方などについて。 ③ 公立学校学級編制の変遷とコロナ禍での少人数学級化を求める動きの経緯について。 (2) 1クラス20人規模の少人数学級実現に向けての具体的な取組を。 ① 令和2年度小・中学校生活、学習支援員の状況について、人数、教員免許の有無、年齢など具体的に伺う。 ② どうしたら少人数学級を実現できるのか。法律の改正、自治体独自の対策、人材の確保、教室の確保それぞれについて具体的に計画を持つべきと考えるが市の見解について伺う。	市長 教育長 関係部長
2				コロナ禍での観光の在り方について	(1) コロナ禍で人の移動が制限される中、市外からの観光客を呼び込む観光から、市民が地元の良さを再発見する観光にならざるを得ない状況の認識と今後の在り方について。 ① 「ちょこっと旅する富士宮プレゼントキャンペーン」と「富士宮発！ちょこっと旅する新旅行キャンペーン」の取組結果と現状について。 ② 今後の観光の方向性について。	市長 関係部長
3				コロナ禍での公共施設利用の対応と新たな支援金の提案	(1) 公共施設使用にあたり、新型コロナウイルス感染症対策による名簿提出等の対応の違いについて。 (2) 氏名、住所、電話番号の記入から氏名、電話番号だけに省略することができないのか。 (3) 学童保育指導員へ自治体の独自給付が広がっている中、コロナ禍で子どもと接する職種への市独自の支援金給付の検討を提案するがいかがか。	市長 関係部長